



# 高次脳機能障害者の社会参加支援に向けて

作業療法学科

石岡 俊之 准教授

【研究分野】 行動神経科学、作業療法学、脳科学  
 【キーワード】 高次脳機能（障害）、地域、社会参加  
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=184ishi>



## 研究概要

高次脳機能障害は、外見からはわかりづらく周囲の人だけでなく当事者自身もその障害を理解して対応することが難しいことが特徴です。

そのため、地域での社会性生活を円滑に営むためには当事者自身の障害特徴を理解し、その特徴に応じた支援方法をテーラーメイドで開発する必要があります。また、高次脳機能障害について社会全体に理解していただく活動が必要です。

## 研究紹介

### 当事者がその人らしく地域で生活を営むための支援活動

- ・ 障害者総合支援法の自立訓練事業での介入実践
- ・ 当事者やその家族と地域社会との橋渡しのためのグループ活動の支援

### 高次脳機能障害についての理解していただく啓蒙活動

- ・ 高次脳機能障害についての特徴や支援方法についての研修会講師

### 当事者やその家族を支援できる専門職養成活動

- ・ 教育活動と地域事業活動を橋渡しによる当事者と初学者との協働活動による障害理解を促進する活動
- ・ リハビリテーション専門職への高次脳機能障害に対する研修会講師

## 講座テーマ紹介

### 高次脳機能障害への理解の普及やその対応方法についての講座

- ・ 地域住民の皆様や企業での研修会など参加者の希望に添う内容をお話します。
- ・ 小学生や中学生に向けた体験型の研修会も企画できます。
- ・ 作業療法学を学びたい高校生に向けた講義や進学相談にも対応できます。

### 高次脳機能障害の最新の知見やその知見の応用方法についての講座

- ・ リハビリテーション専門職や医療保健福祉領域で活躍されている皆様を対象とした実践で役立つための内容でお話します。

## アピールポイントなど

急性期から回復期の臨床現場での経験もあり、現在も自治体の事業に参加して当事者への支援をしております。この経験を活かして高次脳機能障害による認知機能の特徴や行動精神症状の特徴と脳機能との関係性を解明する研究から支援者の養成の実践研究まで幅広く行っております。

発症から地域生活まで各時期に沿った支援方法の開発に向けた研究に興味がある研究者や臨床家の人からの御連絡をお待ちしております。

「作業療法神経科学研究会」を2014年に発足し、研究職と医療職との橋渡しの活動もしています。 <https://www.ot-neuroscience.com>

